

The Rupnow Collection

2016年度
秋季特別展

絵葉書にみる 日本と中国

1894
1945

絵葉書：樂土を謳歌する農民の万歳（満州風俗）

絵葉書：満洲国治外法権撤廃記念

絵葉書：日露戦役三十周年陸軍記念日

絵葉書：SCHUFT No.7

2016年10月1日（土）～12月11日（日）

立命館大学国際平和ミュージアム1階・中野記念ホール

主催 立命館大学国際平和ミュージアム

後援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会
KBS京都、朝日新聞社、京都新聞、毎日新聞社、読売新聞社

2016年度
秋季特別展
**絵葉書にみる
日本と中国
1894
1945**

日清戦争から第二次世界大戦終結までの約半世紀、日本は中国大陸への侵出を進め、やがて侵略戦争を起こして敗北するという結果に終わりました。この間、日本と中国は互いをどう捉えていたのか、世界はこの時期の日本と中国をどう見ていたのでしょうか。日清戦争、日露戦争、義和団事件、21か条の要求、パリ講和会議、満州事変、日中戦争などの歴史的出来事が絵葉書及びその他の資料にどの様に描かれていたのかを追います。

本展は、世界的な絵葉書コレクターであるDonald・ラップナウ氏のコレクションの日本初公開となります。絵葉書を中心に、戦争柄の着物や風呂敷、情報宣伝に用いられた資料など、ラップナウ氏のコレクションからの出品を中心に展示を展開します。多くの課題を残す日中関係について考える機会となることを願い開催いたします。



- ①絵葉書：(支那事変)上海防衛マスクを付けて活躍する我兵
- ②絵葉書：CHAMPIONNAT INTERNATIONAL(日露戦争風刺絵葉書)
- ③絵葉書：亜細亞的指導者
- ④絵葉書：(熱河討伐の戦況)難関古北口の一部を占拠皇軍の万歳
- ⑤ステレオカード：中国によって焼かれた公使館周辺の廃墟(義和団事件)
- ⑥伝単：半死的蛇也會咬人
- ⑦絵葉書：義和団事件風刺絵葉書
- ⑧中華民国国旗と陸軍旗が描かれた器
- ⑨退宮記念盃



講演会のお知らせ

二松啓紀氏(立命館大学客員研究員)による講演会を予定しております。詳細はホームページでお知らせいたします。

関西文化の日 11月19日(土)・20日(日)

当日は無料で入館いただけます。常設展も併せてご覧いただけます。

立命館大学
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

◎開館時間：9:30～16:30(入館は16:00まで)

◎休館日：月曜日(但し10/10は開館)、
祝日の翌日(10/11、11/4、11/24)

◎参観料：大人400円(350円)、中・高生300円(250円)
小学生200円(150円)
※上記()内は20名以上の団体料金です。
常設展もあわせて見学いただけます。

◎交通案内：

市バス12・15・50・51・55・59・M1、JRバス「立命館大学前」下車/徒歩5分
市バス204・205「わら天神前」下車/徒歩10分
※お車での来館はご遠慮ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/>



〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899